

講演会 パネルディスカッション

ポスト3.11の新しい地産地消を 目指して～放射能汚染への対応～

10月24日 (木) 入場無料 (定員140名)

受付：午後1時～ 開演：午後1時30分～午後5時

会場：**大崎合同庁舎大会議室**

(JR古川駅下車 徒歩約15分 イオン古川店となり)

福島原発事故に伴う農林水産物の放射能汚染によって、生産者は出荷制限指示や販売減少に悩まされ、また、消費者にとっても食材の購入に困惑する事態となっています。

本会では千葉県柏市で「安全・安心の柏産柏消」円卓会議事務局長を務められた、筑波大学の五十嵐泰正氏をお招きしました。

柏市はカブの生産が全国1位であり、農業の盛んな地域であるとともに直売所売上も多い地産地消が根付くまちです。しかし原発事故後、放射能汚染のホットスポットとして繰り返し報道されてきた中で、農産物の売上減少が問題となりました。そこで消費者と生産者、流通業者など利害も意見も異なる人たちで話し合い、科学的な裏付けを持ちながら放射能問題に向き合い「顔の見える」信頼関係の回復に向かっていく取組が進められました。

講演会ではこの取組を行ってきた五十嵐氏から、柏市での取組の経緯をお話し頂くと共に、パネルディスカッションを通して、放射能汚染問題を乗り越え、震災前よりも更に充実した地産地消のカタチを築き上げる為の方策を皆さんと一緒に考えていきます。



● **講演** ポスト3.11の新しい地産地消を目指して
筑波大学大学院人文社会科学研究所准教授

五十嵐 泰正 氏



五十嵐 泰正 氏

● **パネルディスカッション及び質疑応答**

コーディネーター：岩手大学農学部准教授

山本 信次 氏

パネリスト：筑波大学

五十嵐 泰正 氏

生産者代表 岩手県 うつのきど 歌津野城戸しいたけ生産組合

組合長 **菊池 俊秋 氏**

消費者代表 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

清水 智子 氏



山本 信次 氏

参加ご希望の方は、裏面をご覧ください。

主催：宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部、農林中央金庫

公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

後援：宮城県林業振興協会、宮城県北部地方振興事務所

この事業は、公益社団法人宮城県緑化推進委員会の「緑の募金東日本大震災復興事業」により実施しています。



● お問い合わせ先

宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部

事務局：登米町森林組合 担当：竹中

電話：0220 - 52 - 2075 FAX：0220 - 52 - 2876 E-mail：info@forest100.jp

● 会場までのアクセス

宮城県大崎市古川旭4丁目1番1号

0229 - 91 - 0701 (代表)

J R東北新幹線・陸羽東線「古川駅」から徒歩約15分 東北自動車道古川ICから車で約15分



参加ご希望の方は、FAXまたは電話にて申し込みください。

● 電話でお申し込みの場合

下記に電話いただき、お名前、ご職業（所属）、電話番号をお教えてください。

電話番号：0220 - 52 - 2075

宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 事務局：登米町森林組合

● FAXでお申し込みの場合

下記に御記入のうえ、FAXしてください。

FAX番号：0220 - 52 - 2876

宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 事務局：登米町森林組合 宛

| お名前 | ご職業（所属） | 電話番号 |
|-----|---------|------|
| | | - - |
| | | - - |
| | | - - |